

## 挨拶 済生会宇都宮病院院長 小林健二氏

本日は足元のお悪い中、また遠方からもたくさんの皆様にご参加いただきまして、まことにありがとうございました。済生会宇都宮病院は、地域の中核病院として高度急性期の医療を中心に展開していますが、社会福祉法人として、福祉にも日ごろ力を注いでおります。今回は世の中で関心の高い貧困問題の中で、次世代を担う子どもの貧困問題をテーマにシンポジウムを開催させていただきました。

ここでコーディネーターとシンポジストをご紹介させていただきたいと思います。初めにコーディネーターをお願いするのは、とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会代表の大友崇義先生です。続いてシンポジストですが、福祉の最前線でご活躍中の皆様をお願いいたしました。まずお一人目、一般社団法人栃木県若年者支援機構代表理事の中野謙作先生です。社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会主任の遠藤泉先生です。NPO 法人北関東医療相談会 AMIGOS 理事、長澤正隆先生です。栃木県済生会宇都宮乳児院家庭支援専門相談員の高橋洵貴先生です。栃木県済生会宇都宮病院地域連携課長、医療ソーシャルワーカーの荻津守先生です。以上5人の方に日ごろの活動を通じた貴重なご意見を伺えることと期待しております。それでは大友先生にこれからのシンポジウムの進行をよろしくお願いいたします。